

## 宝ビール京都工場

短食二の一 坂 根 久 代

平地の中に一つの高い建物がポツンと建つて、先に2つの工場を見て疲れた我々を迎えてくれた。中へ入ると、近代的な建物とそれにマッチした明るい庭園。これがビール工場なのかと少しばかり疑いたくなる。なんとなく落ち着いた雰囲気、こんな工場を建てた人の人柄がしのばれるように。

しかし我々は、工場の中を見学にきたのであるから、さつそく工場内を案内していただく。工場内は片側が見学通路となり、大きなガラス板でしきられて中が良く見える。

説明に於ては、前2つの工場と異り、マイクで何度も説明されるので、よくわかるのであるが、機械の方は、整備中とかで、動いていない。せつかく説明していただいても、機械が動いていないのでは、我々の関心は、工場の中側より、外側の庭園にばかり向いてしまう。

ビールを小ジョッキ1杯いただいて、味の方だけは皆満喫した様子、1杯のビールでビールのすべてがわかった様な気持になつたのかしら？

明るく清潔で設備のゆき届いた工場、毎日たくさん造りだされるビール。衛生的な面に於ては、満点といえるけれども、すべて機械化された中で、本当のビールの美味しさ、というものができるのかしら、(私自身ビールの味なんて知らないのだけれど・・・)もつと原始的な方法でビールが製造される。即ち、昔からの方法で機械化されていない方法でビールが製造される事を望みたい様な気持がなんとなく私の内に感じられる。それは工場にあつた庭園が私にその様な事を感じさせてくれたのかも知れない。

## ハリスガム大阪工場

短食二の二 波 止 増 子

ハリス大阪工場ではガムの原料となるチクルは製造しておらず、小田原工場で製造されたものを用いて、それ以後の製造工程を行つているので、建物・設備が貧弱である。足りない部分は、説明、幻燈で補つて下さいという会社側の前置きがあつたが、オートメーション化された近代工場の見学を想像していただけないさか物足りなく思つた。